

グラミー受賞アーティスト、Sturgill Simpson の ニューアルバム「SOUND&FURY」のリリースを発表

アルバム全曲のMVは“ハイブリッドアニメーション作品”として
stu がプロデュース、神風動画 水崎淳平と岡崎能士が制作タッグを組み
1つの世界観で制作 NETFLIX での同時配信が決定！



2018年に設立した新興のクリエイティブカンパニー株式会社 stu（東京都渋谷区、CEO 黒田貴泰）は、第59回グラミー賞（2017年2月）受賞シンガソングライターである Sturgill Simpson（スタージル・シンプソン）のニューアルバム「SOUND&FURY」全楽曲を通じたアニメーション映像作品の企画および制作のプロデュースを行い、サンディエゴで開催していた第50回コミコン・インターナショナルにおいて、第一弾トレーラー映像を公開しました。

Sturgill Simpson は、ニューアルバム「SOUND & FURY」は、第59回グラミー賞（2017年2月）において“Best Country Album”を受賞し、“AOTY”（Album of the Year）にノミネートされた「A Sailor’s Guide To Earth」以降3年ぶりとなるニューアルバムです。先日、本アルバムの作品概要と、日本のトップアニメクリエイターらによるアルバム全編を通じた同名オリジナルジャパニメーションの制作を発表。その第一弾トレーラー映像を公開し、現在は Sturgill Simpson のオフィシャル YouTube チャンネルで公開されています。

Sturgill Simpson のアメリカンロックとジャパニメーションを革新的なアプローチで融合させ、アルバム全編通したこの映像作品は、彼自身が考案した「Sound & Fury」の原案を元に、アニメ映画「ニンジャバットマン」（2018年）を監督した有限会社 神風動画(かみかぜどうが)代表の水崎淳平さんと、そのキャラクターデザイナーを務めた世界的漫画家・イラストレーターの岡崎能士さんがあらためてタグを組み、世界観を構築しています。

このアニメーション制作には、(有)神風動画のほか Grayscaleart、マイケル・アリアス、D'ART Shtajio、森本晃司らが監督およびアニメーションスタジオとしてオムニバス形式で参加するほか、NETFLIX でアルバムのリリースと同時に映像が公開されることが発表されました。



Sturgill Simpson は先月、ジム・ジャームッシュが監督する映画 “The Dead Don’t Die,” へ、同タイトル楽曲の提供も発表しています。この楽曲はグラミーを受賞後、ニューヨークタイムズ、ローリングストーン誌を始めとした様々なメディアで大絶賛された“A Sailor’s Guide To Earth”以来約3年ぶりとなる新曲となり、アメリカ国内の様々な地上波番組でもライブパフォーマンスを披露しています。

●stu とは

建築、最新テクノロジー開発、ビジュアルデザインなど様々な領域をつなぎ、新たな創造価値を提供する事を目的に設立されたクリエイター集団。企画から実装、運営、展開まで事業を総合的にプロデュースし、世界に先駆けた総合エンターテインメント企画を手掛ける。
